

# ＜令和2年度 新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業 神流小＞

学年・教科：3年・算数 単元名：三角形と角

ねらい：三角形を仲間分けする活動を通して、辺の長さに着目させ、二等辺三角形と正三角形の用語と定義を理解する。

## 教師の発問、生徒の反応

## 学習の様子

### 1 学習を把握しめあてを設定する。 (13:45)

- T：前回は何をしましたか。  
 S：三角形を作って仲間分けをしました。  
 T：いろいろな仲間分けができましたね。人によって違う分け方になっているけれどみんなそうかな。誰が分けても同じになるものはないですか。  
 S：あるのかな。ありそう。でもどんなときだろう。

**＜めあて＞**  
 三角形をなかま分けするとき、だれが分けても同じようにするには、なにに目を付けるとよいか。



### 2 めあてを追究する。

- (1) だれが分けても同じようにするには何に目を付けるとよいか、ノートに理由も書く。 (13:55)  
 T：どの分け方にしたら、だれもが同じ分け方になるのか、その理由を考えてください。  
 S：大きい三角形と小さい三角形に分けた。  
 →大きい小さい等の規準が明確でないよ  
 S：細い三角形と、太った三角形に分けた。  
 →人によって分け方が変わってしまう



～ペアやグループで考えを共有する～

- (2) 考えを深める。 (14:05)  
 T：みんなが分けたのは色だけど、色で分けたということは、三角形の何に目を付けたことになりますか。色ってなにを表しているんだっけ。  
 S：辺です。



### 3 学習をまとめる。 (14:15)

- ・「二等辺三角形」「正三角形」の用語と定義を知る。
- ・教師の示す三角形が「二等辺三角形」か「正三角形」かそうでない「三角形」かを答える。

**＜まとめ＞**  
 辺の長さに着目して三角形をなかま分けするとよい。

### 4 学習を振り返り、適用問題に取り組む。 (14:25)

- T：さあ、振り返りとして問題を解いてみましょう。教科書p. 179の1の問題をやってみよう。  
 S：コンパスを使うと長さが同じものを探しやすい。  
 長さが等しいものがわかれば正三角形を見つけやすいよ。

